



平成26年度 野田はまなす会総会・ふるさと交流会 事業計画と予算・新役員を承認

発行 野田はまなす会
編集 野田はまなす会事務局
(野田村役場総務課)
☎0194・78・2111



総会の様子

平成26年度の野田はまなす会総会およびふるさと交流会は、去る6月15日(日)午後1時から、虎の門にある霞が関ビル35階の東海大学校友会館にて開催されました。

出席者は76名で、来賓として故郷野田村からは村長小田祐士氏、村議会議長貳又正人氏がご臨席くださり、大いに賑わいました。

また、近隣の友好団体からは、東京様似会、久慈ふるさと会、ふるさと普代会、大野つばさ会、久慈高校同窓会東京支部、久慈地区高校東京同窓会などの会長、幹事長、役員にご出席賜りました。

**76人が参加し
盛大に開催**

今年も野田出身のお笑い芸人「123☆45」さん二人が楽しい小話を演じてくれ、野田特産品がもらえる恒例の空くじなしの「福引き」にもお手伝いいただきました。今年の特別賞は会長賞「まるきんの和菓子」・様似会賞「日



食べきれないほどの料理やデザートを味わいました

総会では、平成26年度の事業計画と予算が提案通り承認され、役員改選による平成26年度から任期2年の新役員も合わせて承認されました。

続いて、ふるさと交流会は、初代会長佐藤匡宏氏の乾杯のご発声で賑々しく開始されました。フレンドワーク野田のふるさとからの出稼ぎの方も一緒に、お酒やおいしい料理を楽しみながら、なまり懐かしい野田弁で世代を超えて交流に花が咲きました。

交流会の最後には参加者みんなで一つの輪になり「野田中学校校歌」を斉唱しました。

別れがたく総会会場近くの「さくら水産虎の門店」で二次会が開催され、60余名が参加しました。

一日を通して楽しいひと時を過ごしました。



イズミさんと同じ玉川出身者が交流しました

フィナーレは野田中学校校歌の合唱

高昆布・えぼし莊賞「ペアーでえぼし莊宿泊券」・ぱあふる賞「のんちゃん人形」で、「123☆45」さんから当選者の名前が呼ばれる度に会場には大きな拍手が沸き上がりました。

ごあいさつ

野田はまなす会
会長 桜庭昌吾



皆さんと共に
村長さんに贈
呈したいと思
います。

「十府ヶ浦

今年の夏も猛暑による熱中
症や台風、異常降雨の被害の
報道が続きました。会員の皆
様には、お元気でお過ごし
のこととお喜び申し上げます。

去る6月15日(日)、村から
小田村長、貳又村議会議長を
迎えての「総会、ふるさと交流

会」には多数の会員のご参加
をいただき盛会に開催するこ
とができました。皆様のご協

力に心から感謝申し上げます。
今年から会場を私学会館か
ら霞が関ビルの東海大学校友

会館にしました。霞が関ビル
は、昭和43年に建てられ、当
時、36階で147坪の日本一

高いビルとして有名でした。

総会・交流会はこの35階で行

われました。すぐ下に首相官

邸と国会議事堂を見ることが

できます。

総会の時、ふるさと野田村

の「十府ヶ浦公園」整備のた

めの「緑化協力募金」の願

いをし、趣意書をお配りしま

した。現在多くの会員の方々

から募金が振り込まれていま

す。ご協力ありがとうございます。

募金の決算はまとまり

次第皆さんにご報告いたしま

す。募金総額は次回総会の時、

皆さんと共に

村長さんに贈

呈したいと思

います。

「十府ヶ浦

公園」整備の進捗状況を見る

ため、7月末、野田に帰りま

した。役場事務局の上山さん

の案内で旭町から米田までの

公園用地とその広さ、形状を

視察してきました。完成は予

定より1年遅れて平成28年に

ずれ込むようです。

安心・安全、豊かな自然資

源、賑わいの再生、心身の健

康増進と村の担い手育成等々、

村の活性化につながることを

期待しています。膨大な広さ

なので整備にも維持管理にも

格段の工夫が必要だろうと思

われます。引き続き皆さんの

ご協力をお願いします。

本町、旭町の街並みの再建

はまだまだ目に見えませんが、

土砂の運搬など基礎工事はす

ごい速度で進んでいるように

見えました。公営の住宅の中

を見ましたが、3DKで立派

な造りでした。仮設に付いて

いた冷暖房設備があればなお

良いなと思いました。

新山の野田港から十府ヶ浦

海岸では14坪の防潮堤の作業

が続いています。今までの

ようには海が見えなくなるの

が残念です。仮設住宅の方々

も早く落ち着いて安心、安全

な生活ができるように願って

います。

終わりに3つお願いがあり

ます。1つは、関東在住の知

人・友人・親戚の方に声をか

けて会員の拡大にご協力くだ

さい。2つめは、年2千円の

会費の納入にご協力ください。

3つめは、10月の日帰りレク

にご参加ください。

今年度も楽しい会の運営に

なるよう、どうぞよろしくご

協力の程、お願いいたします。

第二回

役員会開催される

(久慈士郎 記)

今年度承認された役員のうち、

13人が出席して、7月27

日(日)、午後1時から虎の門

の「霞が関ビル東海大学校友

会館」で野田はまなす会第二

回役員会が開催されました。

会長から①6月1日の「岩

手県人のつどい」に本会から

は桜庭、久慈、諫山、明内の

4人が出席したこと、②3.11

復興視察県人会旅行が10月29

日から31日、陸前高田市、大

船渡市、遠野方面で実施され

ること、③十府ヶ浦公園緑化

募金が現在約33万円であるこ

と、との報告がありました。

協議では、日帰りレクリ

エーションはガイド付きで上

野公園とアメ横周辺の散策と

し、10月5日に

実施すること、

来年度の総会・

交流会は平成27

年6月21日(日)

13時から、今年

と同じ東海大学

校友会館を会場

に開催予定とす

ることなどが話

し合われました。

出席者桜庭、小

谷地、米田(忠)、

坂本、久慈、志村、戎谷、諫山、

大沢(清)、山根、小野、明内、

安藤

国立競技場スタンド座席移設

ボランティア作業に参加して

(志村良子 記)

6月29日(日)10時から14時

まで、国立競技場でスタンド

座席移設作業を手伝いました。

作業は、2016年岩手国体

の開会式などを行う北上市陸

上競技場に、解体される国立

競技場で使用されていた中古

の座席約6200席を移設す

るというものでした。

このボランティアは岩手県

内から100人、県外から5

00人の大人数が募集され、

私は県外の募集枠で参加しま

した。県内からの参加者は、

北上市・盛岡市からバスで来

て車中泊をして参加されてい

たほか、新幹線で来られた方

もいました。

私は、当日前夜から大雨

だったのでカッパを持参して

参加しましたが、作業時間帯

は天候に恵まれ、暑い中での

作業になりました。現地では

受付順に5人1組でチームに

なり、座席外しと運搬をひた

すら行いました。

新役員を紹介します

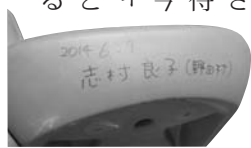
6月15日に開催されたはまなす会総会で役員改選が行われ、新役員が承認されました。

役 職	氏 名	出身地区
顧問	種 綿 勇	横合
会 長	桜庭 昌吾	新山
副 会 長	小谷地 守	新山
	米田 忠男	米田
	坂本 悟	新山
幹 事 長	久慈 士郎	前田小路
副 幹 事 長	志村 良子	北区
各地区の幹事	東 京	加藤 和子
		戎谷 牧子
	神奈川	大沢 直人
	千 葉	小野 正美
		山根 正信
	埼 玉	大澤 清子
監 事		諫山とも子
		明内キサ子
	安藤 君夫	新山

岩手県の協賛企業も多数あり、工具や飲み物、昼食用のカレーライスや果物などお土産もたくさんいただきましたが、なにより、外した座席にマジックで名前を書ける特典が嬉しかったです。私は記名と共に(野田村)も書きました。新しくなる北上市陸上競技場のどこかの座席に設置されるはず。野田はまなす会員で岩手国体に行った方はぜひ座席の裏に「志村良子(野田村)」と書いた座席を見つけてください。奇跡ですが、見つけたら何か記念品を差し上げたいと思います。

北上市に運ばれる6500席の座席に乗せた3台の大型トラックを見送った後は、昼食をいただき、国立競技場内のグラウンドに入ってボランテアをされていたマラソン選手の有森裕子さんと参加者全員でグラウンドを一緒に走りました。最後にグラウンド上に大きく「北上」と人文字を作って解散しました。

岩手国体はもちろんですが、野田村の人たちが北上市陸上競技場で活躍されることを期待しています。今回のボランティアは本当に夢と元気をもらえるものでした。



マジックで書きこんだ座席

野田村役場前の震災直後と今

震災直後の写真



現在の写真



野田まつり2014

三車の競演が実現!

下組が復活

震災以降のまつりは、津波により、太鼓や笛、山車の基礎が流失・損傷するなどの被害を受け、2012年は三車(上組、中組、下組)合同の山車、2013年は上組、中組の山車が引き出されていました。

三車の競演が待ち望まれている中で、今年、下組がアサヒビールや宝くじ協会、各地からの学生ボランティアの支援を受け、山車を製作し復活を遂げました。

最終日に行われた競演では、下組若連による「下組復活の舞」が披露され会場から温かい拍手が送られました。



下組の山車テーマ「転禍為福」※禍転じて福と為す

日帰りレクリエーション

参加者募集!

上野公園散策&アメ横でお買いもの

知り合いを誘って多数ご参加ください。

その後、居酒屋で懇親会を予定していますので、ぜひご参加ください。

- 期 日 10月5日(日) 10:00~
- 目 的 地 上野駅、「上野恩賜公園」「アメ横通り」
- 集 合 場 所 JR山手線「上野駅、公園口」を出た所
- 集 合 時 刻 午前10時00分
- 費 用 昼食代、交通費は各自負担
- 申し込み先 ※お早めにお申し込みください
幹 事 長 久慈 士郎 090-5567-5795
担当幹事 加藤 和子 090-1107-1198
戎谷 牧子 090-3814-2347
志村 良子 090-4134-2239

ふるさと野田村の「十府ヶ浦公園」整備のための「緑化協力金募金」の中間報告

現在募金額 468,000円

会員の皆さんから8月末現在で約468,000円の募金をいただいています。

皆様のご厚意に心より感謝申し上げます。引き続き下記にて受け付けておりますので、お近くに野田村出身者や関係者がいらっしゃいましたらお勧めいただきますようお願い申し上げます。

- 振込先 ゆうちょ銀行 大崎支店
- 加入者 志村良子(会計担当)
- 郵便局→郵便局
- 口座番号 記号10180 番号34914881
- 他銀行→郵便局
- 店名018 普通預金 口座番号3491488

※郵便局の口座をお持ちの方はATMでの送金は無料です。

絵でつづるふるさと野田村の風景（その6）

「マリンローズパーク野田玉川」～玉川地区～

（文と絵） 桜庭 昌（新山地区出身・野田中昭和33年卒）



私が玉川にマンガンで有名な鉱山があることを知ったのは、昭和28年の小学校5年生頃でした。当時、お盆で多くの村出身者が帰省した時期に、村主催の「部落(地区)対抗野球大会」が行われ、それぞれ自分の地区を必死で応援していました。この大会に玉川鉱山チームも参加していて、私も試合や応援などを見ていました。「玉鉱」の選手や応援する人たちは皆、言葉遣いは野田弁とは随分違うし、風貌も垢抜けていて、村の人とはどこか違う新鮮さを感じたことを思い出します。

その後、「玉鉱」のある場所や施設、住宅などをはじめて見たのは、私が中学生になってからでした。この頃の「玉鉱」は全盛期で、当時、県下でもめずらしいノンプロ野球チームを持つほどでした。「野田玉川」は盛岡鉄道や釜石製鉄など強

豪チームにも勝つほど強いチームで岩手県で優勝して東北大会に出たこともありました。私も、玉鉱グラウンドでの練習試合をよく見に行きました。

玉川鉱山の歴史は古く、創業は明治38年とされています。最盛期は昭和26年から昭和40年頃だと思います。この頃は従業員も200人以上、マンガン産出量は全国12位の鉱山でした。この後、経営権は幾多の変遷を経て、現在北星鉱業(株)に移り、「バラ輝石」が発見され、これを装飾品「マリンローズ」として販売しています。昭和62年から「マリンローズパーク野田玉川」として坑道を一般公開しています。

繁栄していた玉川鉱山を思い浮かべ、村で民間唯一の観光施設に多くの観光客が訪れるよう願って、この絵を描きました。

あとがき

◆「8月6日」が今年も巡ってきました。69年前、広島に人類史上初の原子爆弾が投下された日です。その時のアメリカの爆撃機の乗組員で最後の生存者であったヴァン・カーク氏が7月28日、93才で生涯を閉じたことと報じられていました。

◆原子爆弾は百万度の火の玉となり、地上では4千度の温度と熱風で14万人の命を奪いました。放射能で今も苦しんでいる人々がいます。

◆チェルノブイリ、福島原子力発電所の事故ばかり、原子力はまだまだ人間の英知を結集しても、制御しきれない難しさがあるのかも知れません。

◆奇しくも、「8月6日、野田村で木質バイオマス発電施設造成工事始まる」の岩手日報の朗報がありました。核燃料ではなく、木を燃料とした発電所で、年間26億円の収入を見込み、東北で最大級の施設となるそうです。

◆再生可能な燃料で、30人の雇用も見込まれています。太陽熱、風力などともに安全安心なエネルギー生産の成功を切に祈りたいです。

(S・S)